

## 地震発生時の対応について

明日香村立明日香幼稚園

## ①明日香村に震度5(弱)以上の揺れを観測したと発表された場合

- (ア) 在宅時→ 自宅で待機し、家族と避難行動をとってください。  
幼稚園は1日臨時休園とします。
- (イ) 登園中→ 徒歩通園の方は、安全確保後、自宅か幼稚園のどちらかに避難してください。  
スクールバス乗車中は、安全確保後、幼稚園に避難する。  
乗車していない場合は、安全確保後、自宅に避難する。  
自宅へ避難した時は(ア)と同じ対応をとる。
- (ウ) 保育中→ 園内外の安全確認後、引き渡しの準備が整い次第、保護者にコドモンアプリや電話など可能な手段で連絡をします。直接園まで迎えに来ていただき、引き渡しを行います。引き渡しまでは、幼稚園で待機をします。  
※引き渡しの際には、必ず引き渡しカードの氏名・連絡先等で本人確認をして引き渡しをします。
- (エ) 降園中→ 徒歩通園の方は、安全確保後、自宅か幼稚園のどちらかに避難してください。  
スクールバスに乗車中は、安全確保後、通常のバス乗降場所に送ります。ただし、道路状況により幼稚園に引き返す場合もあります。  
幼稚園へ避難した時は(ウ)と同じ対応をとる。

## ②明日香村に震度4以下の揺れを観測したと発表された場合

原則、通常通り保育を行います。

- (ア) 在宅時→ 安全確保後、登園してください。
- (イ) 登降園中→ 安全確保の後、自宅か幼稚園のどちらかに避難する。  
スクールバスに乗車中は、添乗員が指示します。  
園内外の安全確保後、通常通り保育を行います。  
避難後、休園・自宅待機など通常とは異なる対応の場合、コドモンアプリで連絡をします。その指示に従ってください。
- (ウ) 保育中→ 園内外の安全確保後、引き続き保育を再開します。

## ③深夜・休日に震度5(弱)以上の揺れを観測したと発表された場合

- ・ 自宅で待機し、家族と避難行動をとってください。
- ・ 翌日朝までには、園よりコドモンアプリで今後の対応について連絡しますので、すぐに登園せずに、安全確保を行ってください。

## 気象警報発令時の対応について

明日香村立明日香幼稚園

明日香村に気象警報が発令された場合、下記のような措置を取ります。

## ①午前7時現在、明日香村に気象警報が発令されている場合

**1日臨時休園**とします。

午前7時にコドモンアプリで連絡します。

(以後警報が解除されても、登園することはありません。)

## ②午前7時よりあとに、明日香村に気象警報が発令された場合

警報発令後すみやかに今後の対応についてコドモンアプリで連絡します。

(ア) 在宅時→ 登園せず、家族と安全確保を行ってください。

(イ) 登園中→ 徒歩通園の方は、安全確保後、自宅か幼稚園のどちらかに避難してください。

スクールバス乗車中は、安全確保後、幼稚園に避難。

乗車していない場合は、安全確保後、自宅に避難する。

**自宅へ避難した時は(ア)と同じ対応をとる。**

(ウ) 保育中→ 村教育委員会及び関係機関と協議し、園児・保護者の安全面を第一に考え、降園するかどうかを判断します。状況により、保育を継続するときもあれば、保護者の方に迎えに来ていただくこともあります。

また、給食の有無についても連絡します。

※引き渡しの際には、必ず引き渡しカードの氏名・連絡先等で本人確認をして引き渡しをします。

(エ) 降園中→ 徒歩通園の方は、安全確保後、自宅か幼稚園のどちらかに避難してください。

スクールバスに乗車中は、安全確保後、通常のバス乗降場所に送ります。ただし、状況により幼稚園に引き返す場合もあります。

**幼稚園へ避難した時は(ウ)と同じ対応をとる。**

※注意報の場合は、平常通りとします。

※テレビ等で「奈良県北西部」に気象警報が発令されても、**明日香村**が対象地域に入っていない場合は、臨時休園とはなりません。平常通り登園させてください。

※テレビのリモコンの「dボタン」を押して天気予報のデータ放送や、スマートフォン等の気象アプリ等で警報について確認することができます。

※注意報でも、安全面において登降園に支障をきたす場合は自宅待機をし、幼稚園に連絡ください。

明日香幼稚園 54-5001

## ご家庭へのお願い

- 緊急時には通信・連絡網が使用できないことも想定されます。その際は連絡がつくか迎えに来られるまで園で待機しています。
- 災害はいつ・どこで起きるかわかりません。園では子どもの安全を守るために避難訓練や職員研修等に努めていますが、もしもの時に備えて、ご家庭でも日ごろから、避難方法や安全に関して話をしておいてください。

## 地震だ!その時どうする?〈あなたの命を守るのはあなた自身〉

### 学校にいる時

- 教室にいる時は、すぐに机の下にもぐり、窓などと反対側に頭を向けて、できるだけ体を小さくして、机の脚をしっかり押さえよう。
- 教室にある本棚やロッカーは地震で倒れたり、くずれたりすることもある。地震の時は、はなれよう。
- 地震で柱が曲がったり、ドアが曲がったりして、ドアが開かなくなることもある。その前にドアを開けて、いすなどをはさみ、出口を確保しておこう。
- 音楽室にいる時は、ピアノなど動いたり、倒れたりするものからはなれよう。
- 理科室や家庭科室では火をすぐに消し、危険なものからはなれ、机の下にもぐるなど、頭を守ろう。
- 廊下や階段にいる時は、近くの教室に入り、机の下にもぐろう。教室に逃げる余裕がなかったら、窓が割れて落ちてくることがあるので、窓からはなれ、蛍光灯の下をさけて、頭を守りながら、腰をおろして、揺れがおさまるのを待とう。
- 体育館にいたら、跳び箱などの体育用具類からはなれ、天井のライトやバスケットゴールなどに気をつけ、真ん中に集まり、頭を手で守り、腰をおろして、揺れがおさまるのを待とう。
- 昇降口にいる時は、くつ箱やロッカーから急いではなれ、近くの教室に入り、机の下にもぐろう。近くに教室がなかったら、窓からはなれ、蛍光灯の下をさけて、頭を守りながら、腰をおろして、揺れがおさまるのを待とう。
- 運動場や中庭にいたら、窓ガラスがわれて落ちてきたり、壁や塀がくずれたり、サッカーゴールなどが倒れてきたりするので、運動場や中庭の真ん中に集まって、腰をおろして、揺れがおさまるのを待とう。

### 登下校や外出している時

- 塀や自動販売機、電柱からすぐはなれよう。看板や窓ガラスなどがおちてくることもあるので、カバンなどで頭を守ろう。あわてて、車道に飛び出さないように注意しよう。

### 家にいる時

- 家にいたら、まず机やテーブルの下にもぐろう。座布団などで頭を守り、たんすや戸棚の近く、電灯の下からはなれよう。揺れがおさまったら、ガスレンジやストーブの火をすぐ消そう。
- 外へ逃げる時は、あわてて飛び出さないようにしよう。ものが落ちてきたり、塀が倒れてきたりすることもある。
- 寝ている時は、まくらを抱えて布団やベッドの下にかくれ、まくらで頭を守ろう。近くに倒れそうな家具がある時は、まくらなどであたまを守り、安全なところに移動しよう。地震が起こると、家の中もガラスのかけらなど危険なものでいっぱいになる。寝ている近くに靴や非常持ち出し品を備えておこう。

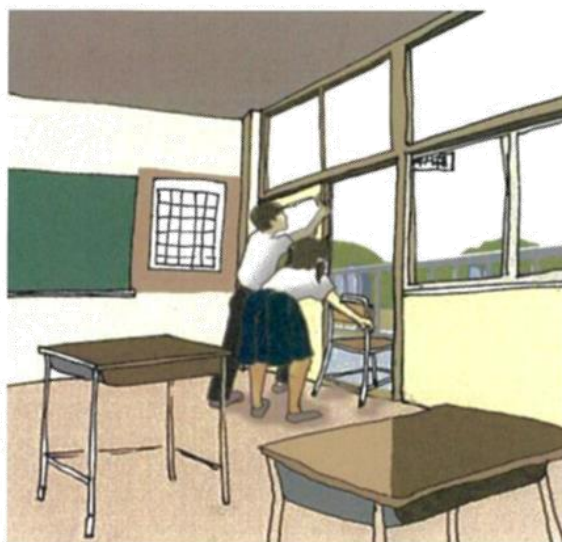
# 地震だ！ その時どうする？

## 学校にいる時

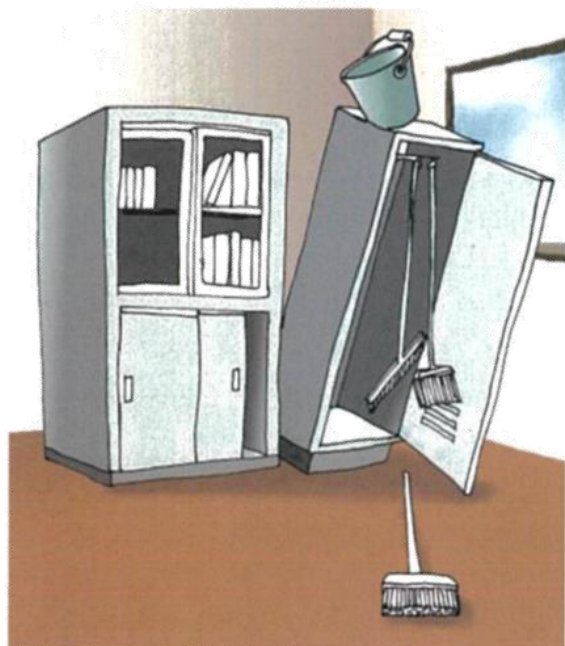
教室にいる時は、すぐに机の下にもぐり、窓などと反対側に頭を向けて、できるだけ体を小さくして、机の脚をしっかりとおさえよう。



地震で柱が曲がったり、ドアが曲がったりして、ドアが開かなくなることもある。その前にドアを開けて、いすなどはさみ、出口を確保しておこう。



教室にある本棚やロッカーは地震で倒れたり、くずれたりすることもある。地震の時は、はなれよう。



音楽室にいる時は、ピアノなど動いたり、倒れたりするものからはなれよう。

理科室や家庭科室では火をすぐに消し、危険なものからはなれ、机の下にもぐるなど、頭を守ろう。



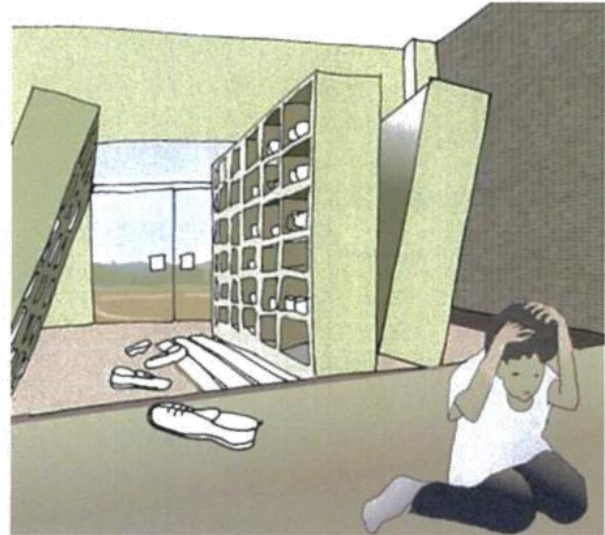
廊下や階段にいる時は、近くの教室に入り、机の下にもぐろう。

教室に逃げる余裕がなかったら、窓がわ  
れて落ちてくることもあるので、窓からは  
なれ、蛍光灯の下をさけて、頭を守りなが  
ら、腰をおろして、揺れがおさまるのを待  
とう。

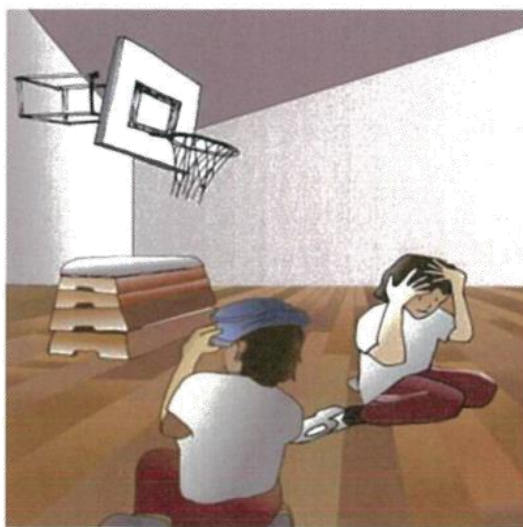


昇降口にいる時は、くつ箱やロッカーか  
ら急いではなれ、近くの教室に入り、机の  
下にもぐろう。

近くに教室がなかったら、窓からはなれ、  
蛍光灯の下をさけて、頭を守りながら、腰  
をおろして、揺れがおさまるのを待とう。



体育館にいたら、跳び箱などの体育用具  
類からはなれ、天井のライトやバスケット  
ゴールなどに気をつけ、真ん中に集まり、  
頭を手で守り、腰をおろして、揺れがおさ  
まるのを待とう。



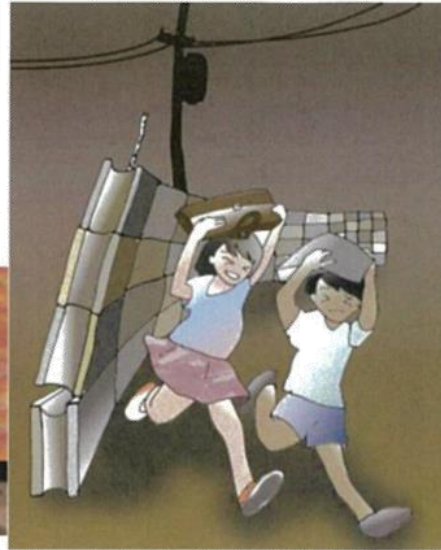
運動場や中庭にいたら、窓ガラスがわれ  
て落ちてきたり、壁や塀がくずれたり、サ  
ッカーゴールなどが倒れてきたりするの  
で、運動場や中庭の真ん中に集まって、腰  
をおろして、揺れがおさまるのを待とう。



## 登下校や外出している時

塀や自動販売機、電柱からすぐはなれよう。看板や窓ガラスなどが落ちてくることもあるので、カバンなどで頭を守ろう。

あわてて、車道に飛び出さないように注意しよう。

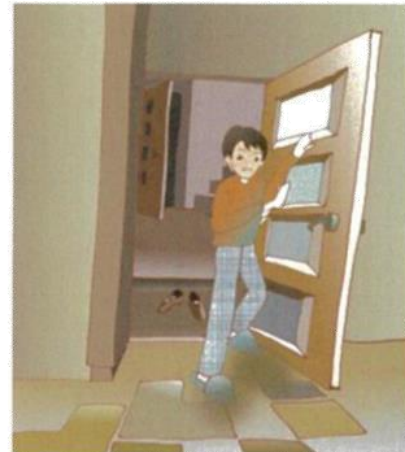


## 家にいる時

家にいたら、まず机やテーブルの下にもぐろう。

座布団などで頭を守り、たんすや戸棚の近く、電灯の下からはなれよう。

揺れがおさまったら、ガスレンジやストーブの火をすぐ消そう。



外へ逃げる時は、あわてて飛び出さないようにしよう。ものが落ちてきたり、塀が倒れてきたりすることもある。



寝ている時は、まくらを抱えて布団やベッドの下にかくれ、まくらで頭を守ろう。近くに倒れそうな家具がある時は、まくらなどで頭を守り、安全なところに移動しよう。

地震が起こると、家の中もガラスのかけらなど危険なものでいっぱいになる。寝ている近くにくつや非常持ち出し品を備えておこう。